



報 告 書

REPORT

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所

Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology



報告書

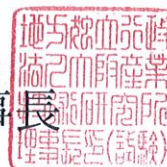
阪技術研顧客サ第1 - 03181 号

受付番号	I02-01952		
依頼者	会社名	株式会社ガイア	
	住所	東京都葛飾区水元2-8-20	
試料名	(依頼者の申出による呼称) 内装用光触媒加工液GCI-4		提出試料(1)点
No.	試験コード	試験名	
1	Q220	消臭・脱臭性能試験(ガス検知管)	
2	0701	試料調製	

本研究所に申込みのあった件について次のとおり報告します。

発行日 令和 3 年 12 月 1 日

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所理事長



(注意事項)

- ・ 申込書に記載された受付番号、会社名、住所、試料名、提出試料点数、試験名等を記載しています。
- ・ 試料名は依頼者の申出によるものです。
- ・ 依頼者は、本報告書の記載事項について、本研究所名義とともに印刷物やインターネット等の電子媒体に掲載して広告しようとする場合は、事前に名義使用の承認申請書を提出し、理事長の承認を受ける必要があります。

1. 試料名（依頼者の申出による呼称）

内装用光触媒加工液 GCI-4 1 点

2. 方法

- 1) 10 cm 角の布状試料について、ブラックライトを用い、試料表面の放射照度が 1 mW/cm^2 となるように紫外光を 24 時間照射した。
- 2) 試料試験として、5 L サンプリングバッグ（以下、バッグと称す）の一隅をカットし、1)の試料 1 枚を入れた後、カット部分を塞いだ。
- 3) バッグ内を真空ポンプで脱気したのち、積算流量計を通じ、バッグ内に空気 3 L を注入した。また、ブランク試験として、空のバッグ内に空気 3 L を注入した。
- 4) 所定の初発濃度になるように、各バッグ内にシリンジで臭気物質のガスを注入後、密閉した。
- 5) ブラックライトを用い、試料表面の放射照度が 1 mW/cm^2 となるように紫外光を照射した。
- 6) 照射開始から 24 時間後のバッグ内の臭気物質のガス濃度を、ガス検知管を用いて測定した。

なお、試験はすべて 20°C の実験室内にて行った。また、使用した器具および条件を表 1 に示す。

表 1 使用した器具および条件

5 L サンプリングバッグ	ジーエルサイエンス株式会社、スマートバッグ PA AA-5
積算流量計	コフロック株式会社、ACM-1
臭気物質（初発濃度）	ホルムアルデヒド（15 ppm）
ガス検知管（測定範囲）	株式会社ガステック
	ホルムアルデヒド検知管 No. 91（2 ppm～100 ppm） ホルムアルデヒド検知管 No. 91LL（0.05 ppm～1.0 ppm）
紫外線強度計	Tenmars Electronics Co., Ltd.、TM-213

3. 結果

試験は 2 回行った。試験で得られた臭気物質のガス濃度の平均値を、表 2 に示す。

表 2 試験結果

ブランク試験	試料試験
8 ppm	測定下限 0.05 ppm 未満

— 以 上 —

(注意事項)

- 申込書に記載された企業名、所在地、提出試料名等を記載しています。
- 申込者から提出された試料、試薬、消耗品その他の名称は、申込者の申し出によるものです。
- 申込者は、本報告書の記載事項について、本研究所名義とともに印刷物やインターネット等の電子媒体に掲載して広告しようとする場合は、必ず事前に本研究所の承認を受けてください。
- 本研究所の書面による承認なしにこの報告書の一部のみを複製して用いることを禁じます。